

# NALGENE® 手動式真空ポンプ

カタログ No.

ゲージ付 6132-0010  
6132-0020

ゲージなし 6131-0010  
6131-0020

この手動式ポンプを使用すれば、素早く簡単に真空状態 635mmHg (約 85kPa) に達することができます。

排気ポートには便利な取り外し式のキャップ付きで、小さいレバーをひくと吸引状態を解除できます。

ノズルは内径 1/4 インチ (6.35mm) に適合します。商品には長さ約 50cm のプラスチックチューブが付きま

小さいポンプ (-0010) の排気レートは 15cc/1 ストロークで、排気ポートの圧力が 3psig (21kPa) です。大きいポンプ (-0020) の排気レートは 36cc/1 ストローク、7psig (48kPa) です (大気圧中)。

どちらのポンプも数回のストロークで空気を排出し、規定の排気ポート圧力になります。ポンプは密閉されています。

## ● 使用例

吸引濾過・真空装置の調整・吸引・間接的な液体の移送と排出など

## ● 使用方法

チューブの一方を手動ポンプの吸引口に、もう一方は吸引する容器につなげ、全てしっかり接続されているか確認してください。  
\*解除レバーをひくと、ポンプを外さずに真空状態を解除できます。

## ● 液体の移送

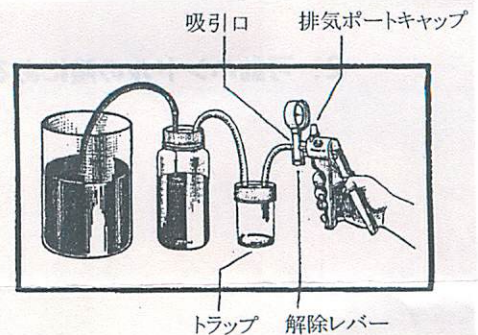
右の図のようなセットにより、ポンプに直接液体を通さず安全に液体の移送ができます。このポンプにて直接液体を吸引し、移送しないでください

\* 移送先のボトルとポンプの間に容器 (トラップ) を設けることにより、液体がポンプに吸い込まれることをふせぎます。

## ★安全にご使用していただくための注意点

- ポンプ内に液体が入らないように注意してください。液体が内部に入ると故障の原因となります。空容器をトラップとしてご使用ください。(図参照)
- 揮発性酸と溶解性のある蒸気の吸引は絶対に避けてください。ポンプ内にダメージを与えます。万が一、吸引してしまった場合はすぐに排出ポートのキャップを外し、ポンプ内にきれいな水を通し完全に洗い流してください。その際、排気ポートから液体が飛び出てくる場合があるのでポンプの向きに注意してください。キャップを元の位置に戻し空中で吸引しポンプ内部を乾燥させてください。(完全に乾燥しないまま放置すると錆びる恐れがあります)
- 掃除をする際には、中性洗剤を含ませた布等で表面の汚れを拭き取ってください。
- ハンドルの動きに異常がある場合は無理に動かさないでください。

図



トラップは広口円筒容器 (カタログ NO.2116)  
蓋付ランスファーキャップ (71-2153-0700)  
移送先容器対応瓶 (2126-4000)  
蓋付コネクターキャップ (6149-0001)

## サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

<http://www.thermofisher.co.jp>

E-mail: [info@nalgenuc.co.jp](mailto:info@nalgenuc.co.jp)

東京営業所 / 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16 成田ビル 6F  
TEL 03-3816-3355 FAX 03-3816-6799

大阪営業所 / 〒561-0872 大阪府豊中市寺内 2-4-1 緑地駅ビル 6F  
TEL 06-6863-1550 FAX 06-6863-1095

福岡営業所 / 〒813-0013 福岡市東区香椎駅前 2-14-17 春幸ビル 2F  
TEL 092-672-0912 FAX 092-672-0914

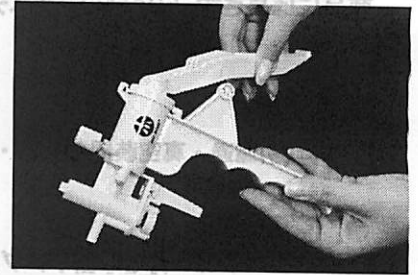
# 手動真空ポンプのメンテナンスについて

この製品は減圧を得られる様、シリンダー内でゴムパッキンとプラスチックが接触して可動する構造になっております。

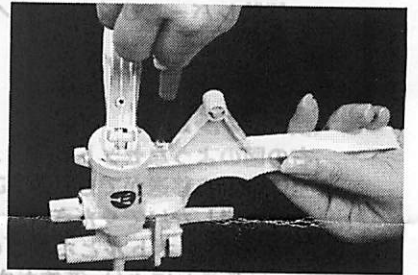
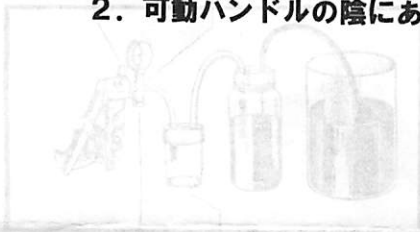
従って定期的なメンテナンスでオイル・グリースを補充してください。

補充を怠りますと、**内部ゴムパッキンの磨耗、可動ハンドル部分の破損につながります。**  
補充方法を下記に記します。

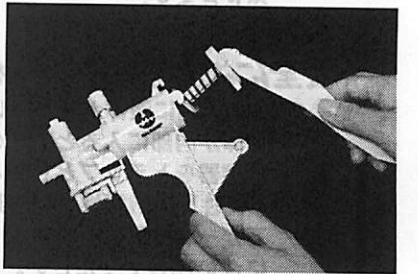
1. 可動ハンドルを少し引き上げ、右手方向にずらしします。



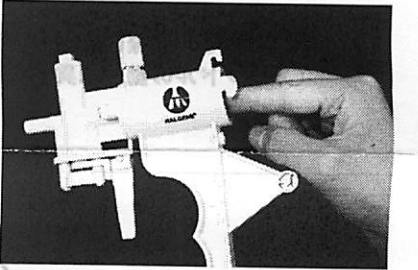
2. 可動ハンドルの陰にあるビスをはずします。



3. シリンダー後部のキャップを左方向に回転させてはずし、ピストン部分を抜き取ります。



4. シリンダー内に適量のグリースまたはオイルを塗布してください。塗りすぎると外部に漏れてきますので、少量に留めてください。  
潤滑剤はゴム・プラスチック用を御使用下さい。



5. 1-4の逆の手順で元に戻して完了です。